平成25年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月9日

上場会社名　株式会社 ファーストエスコ　　上場取引所　東
コード番号　9514　URL　http://www.fesco.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 島崎　知格
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長　(氏名) 小池　久士　TEL 03-5299-8525

四半期報告書提出予定日　平成25年5月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第3四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第3四半期	4,287	1.3	345	51.1	256	78.0	△11	―
24年6月期第3四半期	4,231	△13.5	228	11.3	144	514.4	124	―

(注)包括利益　25年6月期第3四半期　0百万円　(△99.8%)　24年6月期第3四半期　156百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第3四半期	△77.59	―
24年6月期第3四半期	855.73	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年6月期第3四半期	11,902	476	4.0
24年6月期	12,321	470	3.8

(参考) 自己資本　25年6月期第3四半期　470百万円　24年6月期　470百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年6月期	―	0.00	―		
25年6月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 6月期の連結業績予想(平成24年 7月 1日～平成25年 6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	2.2	450	48.5	350	87.2	80	△68.0	549.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) ソレイユ日田株式会社 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年6月期3Q	145,501 株	24年6月期	145,501 株
② 期末自己株式数	25年6月期3Q	― 株	24年6月期	― 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年6月期3Q	145,501 株	24年6月期3Q	145,501 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
（４）追加情報 ……4
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 ……4
４．四半期連結財務諸表 ……5
（１）四半期連結貸借対照表 ……5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……7
（３）継続企業の前提に関する注記 ……9
（４）セグメント情報等 ……9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権の経済政策による景気回復や日銀の金融緩和策への期待から急激に円安が進展し、輸出関連企業を中心とした収益改善予想が株価全体を押上げ、明るい兆しが見えてまいりました。しかし一方で長期化する欧州債務問題や中国の景気減速懸念、アジア近隣諸国との関係緊迫化、鳥インフルエンザ等の景気動向への直接的な不安定要素も多数あり、企業の設備投資や雇用改善等については依然慎重な姿勢を崩していない状況で推移いたしました。

当業界においては、再生可能エネルギーの固定価格買取制度における太陽光発電の平成24年度価格を獲得するため、設備認定、プラント設置に係る駆け込み需要が増加し活況を呈する状況となりました。平成25年度の再生可能エネルギーの固定買取価格は、太陽光発電のみ10%減少し40円/kWhから36円/kWhとなりましたが、これは設置需要が増加したことによる太陽光発電パネル価格の値下がりに対応したものと言えます。再生可能エネルギー導入への期待は、太陽光発電は設置が比較的容易であることから当面の間継続するものと予想されます。また、当社グループが開発・運営ノウハウを有する木質バイオマス発電に関しても、各地の森林再生、林業振興を目的として地方自治体を中心に関連産業、金融機関等からの関心が集まっております。

こうした状況の下、当社グループの省エネルギー支援サービス事業では、太陽光発電設備の設置に関し、顧客企業からの受注はもとより当社グループ内の発電所建設を手掛け、大分県日田市に新たにソーラーフィールド日田太陽光発電所を完工いたしました。同発電所は、グリーンエナジー事業のソリューションとして、平成25年５月初旬に太陽光発電による新たな再生可能エネルギーの供給を担っていく予定です。

また、グリーンエナジー事業では、子会社及び関連会社の既設の木質バイオマス発電所である日田及び白河ウッドパワーが、平成25年３月に固定価格買取制度の設備認定を取得し同制度への移行を完了いたしました。木質バイオマス発電では、発電に使用した燃料種別により電力販売価格が異なりますが、未利用材、一般木材の集荷は移行に際しスムースに進行し想定した収益状況で推移いたしました。

当第３四半期連結累計期間の当社グループの業況は、省エネルギー支援サービス事業においては、オンサイト自家発電事業の契約更新に際し燃料調達方法の変更に伴うエネルギーサービス料の低下により、外部顧客への売上高は前年同期と比較して大幅に減少しているものの、セグメント間取引となるグループ内太陽光発電所建設工事に係る内部売上高を計上し業績は順調に推移いたしました。グリーンエナジー事業では、日田及び白河ウッドパワー発電所がほぼフル稼動となったことに加え、ファーストバイオスによる木質チップの外部燃料販売が拡大し、売上高、収益ともに順調に推移いたしました。

また、当第３四半期連結累計期間において、持分法適用関連会社における持分法による投資利益を営業外収益に計上しております。

この結果、当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高4,287,738千円（前年同期比1.3%増）、営業利益345,210千円（前年同期比51.1%増）、経常利益256,777千円（前年同期比78.0%増）、当第３四半期純損失11,290千円（前年同期124,509千円の利益・遡及基準適用後）となりました。

（省エネルギー支援サービス事業）

当第３四半期連結累計期間においては、オンサイト自家発電、業務系省エネの既存プロジェクトは堅調な推移となりました。しかしながら、前年同期との比較においては、オンサイト自家発電プロジェクトの契約更改で燃料調達方法の変更に起因するエネルギーサービスの従量料金に係る取決めが変更となったため売上高は大幅に減少しております。一方、太陽光発電設備の外部顧客あて工事９件、グループ内の太陽光発電所設備工事１件が完工したほか、空調設備の更新、ＬＥＤ照明設置、断熱塗装工事等に係る売上を計上し好調に推移いたしました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の本事業セグメントの業績は、グループ内取引を含めた売上高では3,329,749千円（前年同期比9.9%増）、外部顧客に対する売上高では2,699,749千円（前年同期比10.9%減）、営業利益102,921千円（前年同期比39.3%減）となりました。

（グリーンエナジー事業）

当第３四半期連結累計期間は、当社グループの運営する日田及び白河ウッドパワーの木質バイオマス発電所２基は、順調に稼働し年度を通じ90%超の稼働率で当初想定を上回る業績となりました。また、木質チップ燃料の供給を担当するファーストバイオスは各発電所が必要とする燃料を十分に収集できたほか外部販売も好調に推移したことから本事業セグメントは引き続き増収増益となりました。

日田及び白河ウッドパワーの木質バイオマス発電所は、平成25年３月に固定価格買取制度の設備認定を取得し同制度への移行を完了いたしました。移行に際し、各発電所が安定的な運営ができるようファーストバイオスの燃料供給体制の強化に注力し、未利用木材、一般木材の収集について順調な滑り出しとなりました。

当第３四半期連結累計期間の本事業セグメントの業績は、グループ内取引を含めた売上高では1,641,989千円（前年同期比36.6%増）、外部顧客に対する売上高では 1,587,989千円（前年同期比32.1%増）、営業利益381,154千円（前年同期比170.1%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末における資産合計は、太陽光発電設備代金の入金や短期借入金により現預金が一時的に増加しているものの、固定資産の減価償却、減損処理による減少により前連結会計年度より419,832千円減少し11,902,154千円となりました。

負債合計は、買掛金のほか短期借入金が増加し、長期借入金、長期未払金の支払により固定負債が減少した結果、前連結会計年度より426,224千円減少し11,425,276千円となりました。

純資産合計は、四半期純損失のほか繰延ヘッジ損益の増減により前連結会計年度より6,392千円増加し476,877千円となりました。なお、第２四半期連結会計期間において資本金の額の減少及び剰余金の処分を実施し、資本金を1,000,000千円としております。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年６月期の連結業績予想につきましては、平成25年２月６日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第２四半期連結会計期間より重要性が増した太陽光発電事業を主業とするソレイユ日田（発電所名：ソーラーフィールド日田太陽光発電所)を連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第３四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

税金費用については、従来、年度決算と同様の方法で計算しておりましたが、当社グループの四半期決算業務の一層の効率化を図るため、当第３四半期連結累計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

当該会計処理の変更は遡及適用され、前年四半期については遡及適用後の四半期連結財務諸表となっております。

なお、遡及適用を行う前と比較した、前第３四半期連結累計期間の四半期純利益に与える影響は軽微であります。

（４）追加情報

当社及び連結子会社は、当連結会計年度において連結納税制度を適用しております。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年６月30日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	576,793	875,503
受取手形及び売掛金	1,069,008	994,095
原材料及び貯蔵品	171,345	164,835
繰延税金資産	86,238	86,238
その他	312,346	324,677
貸倒引当金	△100	△27,900
流動資産合計	2,215,633	2,417,450
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,624,816	2,446,803
減価償却累計額	△952,035	△964,061
建物及び構築物（純額）	1,672,781	1,482,742
機械装置及び運搬具	16,092,143	14,954,369
減価償却累計額	△8,891,856	△8,929,115
機械装置及び運搬具（純額）	7,200,287	6,025,253
工具、器具及び備品	73,107	68,848
減価償却累計額	△61,246	△59,253
工具、器具及び備品（純額）	11,861	9,594
土地	241,961	386,858
リース資産	580,680	609,985
減価償却累計額	△223,865	△282,388
リース資産（純額）	356,814	327,596
建設仮勘定	―	696,150
有形固定資産合計	9,483,705	8,928,193
無形固定資産		
電気供給施設利用権	120,172	110,669
その他	2,813	2,114
無形固定資産合計	122,985	112,784
投資その他の資産		
長期未収入金	110,627	―
長期前払費用	117,706	95,496
長期預け金	290,758	281,441
その他	35,884	66,788
貸倒引当金	△55,313	―
投資その他の資産合計	499,662	443,726
固定資産合計	10,106,353	9,484,704
資産合計	12,321,986	11,902,154

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年６月30日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	434,572	700,226
短期借入金	50,000	642,000
1年内返済予定の長期借入金	714,060	715,935
未払金	156,724	93,177
1年内支払予定の長期未払金	1,583,185	1,042,818
リース債務	78,899	87,335
未払法人税等	32,330	18,491
賞与引当金	17,179	20,802
メンテナンス費用引当金	249,824	217,789
契約損失引当金	34,654	28,202
その他	140,069	157,886
流動負債合計	3,491,502	3,724,664
固定負債		
長期借入金	2,027,130	1,638,840
長期未払金	4,807,380	4,961,975
リース債務	305,245	266,854
長期前受金	217,421	182,128
資産除去債務	―	19,838
契約損失引当金	547,088	235,176
金利スワップ負債	141,498	111,307
長期預り金	314,234	284,491
固定負債合計	8,359,998	7,700,612
負債合計	11,851,501	11,425,276
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,840,230	1,000,000
利益剰余金	△6,228,245	△399,305
株主資本合計	611,984	600,694
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△141,498	△129,888
その他の包括利益累計額合計	△141,498	△129,888
新株予約権	―	6,072
純資産合計	470,485	476,877
負債純資産合計	12,321,986	11,902,154

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間
四半期連結損益計算書

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年７月１日 至　平成24年３月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年７月１日 至　平成25年３月31日）
売上高	4,231,519	4,287,738
売上原価	3,706,144	3,624,155
売上総利益	525,375	663,583
販売費及び一般管理費	296,865	318,372
営業利益	228,510	345,210
営業外収益		
受取利息	320	80
助成金収入	―	900
作業くず売却益	―	700
投資有価証券売却益	―	629
債権譲渡益	758	―
持分法による投資利益	―	50,334
その他	964	1,289
営業外収益合計	2,043	53,934
営業外費用		
支払利息	78,682	73,021
貸倒引当金繰入額	―	55,313
その他	7,634	14,031
営業外費用合計	86,316	142,367
経常利益	144,237	256,777
特別利益		
短期売買利益受贈益	2,771	―
新株予約権戻入益	―	103
特別利益合計	2,771	103
特別損失		
減損損失	―	242,373
その他	―	22,824
特別損失合計	―	265,197
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	147,009	△8,316
法人税、住民税及び事業税	22,499	2,973
法人税等合計	22,499	2,973
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	124,509	△11,290
四半期純利益又は四半期純損失（△）	124,509	△11,290

四半期連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年７月１日 至　平成24年３月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年７月１日 至　平成25年３月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	124,509	△11,290
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	31,505	11,610
その他の包括利益合計	31,505	11,610
四半期包括利益	156,015	320
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	156,015	320
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成23年７月１日　至　平成24年３月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	省エネルギー支援サービス事業	グリーンエナジー事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,029,354	1,202,165	4,231,519	4,231,519
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	270	270	270
計	3,029,354	1,202,435	4,231,789	4,231,789
セグメント利益	169,672	141,117	310,790	310,790

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	310,790
全社費用(注)	△82,280
四半期連結損益計算書の営業利益	228,510

(注)　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成24年７月１日　至　平成25年3月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	省エネルギー支援サービス事業	グリーンエナジー事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,699,749	1,587,989	4,287,738	4,287,738
セグメント間の内部売上高又は振替高	630,000	54,000	684,000	684,000
計	3,329,749	1,641,989	4,971,738	4,971,738
セグメント利益	102,921	381,154	484,076	484,076

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	484,076
未実現利益消去	△68,293
全社費用(注)	△70,572
四半期連結損益計算書の営業利益	345,210

(注)　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「省エネルギー支援サービス事業」セグメントにおいて、一部のプロジェクトにつき収益性の低下に伴い売却価値を含めた資産の評価を行い、不採算が合理的に見積もられるサイトにおいて減損処理をいたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第３四半期連結累計期間においては、242,373千円であります。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は会社法第447条第１項の規定に基づき資本金の額を減少しその他資本剰余金に振替え、さらに会社法第452条の規定に基づき増加したその他資本剰余金の額を繰越利益剰余金に振替え欠損填補を実施する決議を平成24年９月21日に開催した第16回定時株主総会において承認いただき平成24年11月１日をもって実施いたしました。これにより、当社の資本金の額は6,840,230千円から1,000,000千円となりました。